



春の空、森、校庭。もうすぐ、ここに南っ子が集い、新年度が始まります。

3日、4日、5日、車での移動がたくさんあり、車窓から春の景色を楽しむことができました。川沿いにはどこもかしこも桜が植わっていて、うす紅色の長い列ができています。家々

の庭先にはレンギョウやユキヤナギやコデマリやモクレンが美しい調和を見せています。ベニスモモの花の蜜をメジロが吸っています。チューリップもちょうど良い形になりました。出初式の後でしょうか、器具庫の前、桜の木の下で消防団員の皆さんが笑顔いっぱいにバーベキューをされていました。南小学校の桜も満開になり、入学式まできれいなままでという願いは叶いそうにありません。校舎は、子どもたちが帰ってくるのを静かに待っています。職員室だけが新学期の準備で活気づいています。



学級園も色とりどりに。

色とりどりの情景を見るにつけ、今年も新年度が始まることを感じます。学校が4月を年度の始まりにしたのにはいろいろと理由があるようですが、新しい命が芽吹くこの季節を選んだ最大の理由は、希望溢れるその感覚だったのかもしれない。子どもたちが、希望いっぱいに新年度をスタートできるよう努めます。

「ともに」。力を合わせること、話し合うこと、ぶつかり合っても折り合いをつけること、互いのよさを活かすこと、互いのがんばりを認めること。「挑む」。目標を見つけること、見通すこと、達成のための具体的な方法を考えること、努力すること、続けること、振り返ること、次の努力につなぐこと。今年も、「ともに挑む」過程を通して、本校が教育目標としている「ともに生き、自分を活かす力を育てる」ことへ向かおうと思います。職員も、ともに挑みます。ご家庭の皆さまにも、地域の皆さまにもともに挑んでいただける学校づくりを進めていきます。本年度もよろしく申し上げます。



体育館前にも。

「やばい」。先日、車の助手席に座っている娘が、千鳥川沿いの桜を見つめて発した言葉です。わたしは、「危ない」とか「困った」などの意味で「やばい」を使っていますが、今や「すごい！」と肯定的な意味で心情が揺さぶられたときにも使われています。美味しいものを食べたときだって言っています。じゃあ、まずいときは何と云うんだ！どちらかというときこそ「やばい」じゃないのか。本年度第1号で力説するようなことでもありませんね。……それから、とっても楽しいときだって、達成感に喜びを爆発させるときだって「やばい。」と言っています。



南っ子たちの成長のために、ともに挑みましょう。そして、「やばい！」と言わせてやりましょう。娘も発した「やばい！」は、きっとこういうことです。「とってもいい気持ち。楽しい。わたしは、ここにいて幸せ」。

昨年度の1年生が植えていたチューリップも、主がいない間に。